

ウロコゴケ目クラマゴケモドキ科

ケクラマゴケモドキ

Porella fauriei (Steph.) S. Hatt.

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

ブナ帯以上の地域に生育する種であり、恐羅漢山周辺での分布記録があるが、県内での生育状況は不明である。

【概要】

植物体は黒緑色、茎は長さ3～5 cmで、羽状に分枝する。葉の背片は広卵形で、先に数個の歯がある。腹片は広舌形で、縁には数個の歯がある。国内では、北海道、九州のブナ帯以上に生育する。

【県内での生育地域・生育環境】

恐羅漢山周辺で生育の記録がある。

ウロコゴケ目クラマゴケモドキ科

ホソクラマゴケモドキ

Porella gracillima Mitt.

島根県：情報不足 (DD)

島根県固有評価：－

環境省：－

【選定理由】

ブナ帯以上の石灰岩地に生育する種であり、県内ではかつて鱒淵寺で標本が採集されているが、現在の生育状況は不明である。

【概要】

植物体は淡緑色、茎の長さは2 cmで分枝は少ない。葉の背片は卵形、腹片は舌形である。国内では、北海道から九州のブナ帯以上の石灰岩地に生育する。

【県内での生育地域・生育環境】

出雲市内の鱒淵寺において標本が採集されている。

ゼニゴケ目ヤワラゼニゴケ科

ヤワラゼニゴケ

Monosolenium tenerum Griff.

島根県：情報不足 (DD)

写真 口絵17

島根県固有評価：－

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)

【選定理由】

熱帯アジアに分布する南方系の葉状苔類、1属1種で1科をなす特異な種。1960年頃から県内での生育は知られているがきわめてまれ。環境省によるカテゴリーでも絶滅危惧Ⅱ類に指定されている。

【概要】

葉状体は鮮緑色で、大きさは2～4 cm、幅5～8 mm。葉状体の組織の分化や気室も気孔ない変わりもの。ルーベで葉状体の表面を見ると、白灰色の斑点(油体)が多数ちらばっている顕著な特徴を持つので他の葉状苔類と

区別できる。雌雄同体で葉状体の先端近くに、盤状の雌器托やこぶ状の雄器托をつける。国内では関東地方以南に分布し、人家付近の湿土上や植木の圃場、温室などに生育する。

【県内での生育地域・生育環境】

栄養分の豊富な地面。生態的には窒素分を好み人為的な環境に生育。かつては公園内の側溝の壁などにも生育していた。

【存続を脅かす要因】

生育環境の変化。